

問合せ

福祉総合相談課（担当者：大内 紀哉、橋本 一磨）

（内線）2-3540（直通）0565-34-6791

## 「第5回地域共生社会推進全国サミット in とよた」の概要決定について

豊田市が令和5年10月12日（木）・13日（金）に開催する「第5回地域共生社会推進全国サミット in とよた」について、以下のとおり概要が決定しました。

サミットでは、基調講演やパネルディスカッションなどを通して、参加者に地域共生社会について理解を深めてもらうとともに、本市が実践する地域共生社会の実現に向けた先進的な取組を全国に発信します。

- **とき**  
令和5年10月12日（木）午後1時～5時50分  
13日（金）午前9時30分～午後4時15分
- **ところ**  
豊田市コンサートホール・能楽堂（西町1丁目200）及び  
名鉄トヨタホテル（喜多町1丁目140）
- **テーマ**  
「ミライに向かってブンブン～ ー思い発進！つながり前進！幸せ発信！ー」
- **主な内容**  
1日目（10月12日）
  - ・アトラクション「パイプオルガン演奏」  
（演奏：豊田市コンサートホール専属オルガニスト 徳岡めぐみ〔とくおか めぐみ〕）
  - ・基調講演「あらためて『地域共生社会』とは～私たちのミライを構想する～」  
（講師：原田正樹〔はらだ まさき〕氏／日本福祉大学学長）
  - ・パネルディスカッション「多様な主体がつながるミライへ～枠のはみ出し方・変え方・外し方～」（登壇者：永田祐〔ながた ゆう〕氏／同志社大学教授（ほか）
  - ・豊田市の事例紹介「自分らしく地域で暮らすことができるまち『豊田市』を目指して」（登壇者：豊田市長（ほか）2日目（10月13日）
  - ・分科会（3つのテーマに分かれ、地域で活躍する市民や団体が登壇し意見交換を行う）
  - ・サミット宣言（各分科会の報告を受け、地域共生社会の実現に向けた宣言を豊田市から全国へ発信する）
  - ・次回開催地（奈良県生駒市）への引継式（登壇者：豊田市長、生駒市長）※内容の詳細については別添プログラムを参照
- **参加方法**  
7月28日（金）から開設する専用サイトで受付開始（現地参加またはオンライン参加）  
URL：<https://summit-toyota2023.jp>  
※その他メタバースを活用した参加を予定し、参加者は個別に呼び掛け

### ＜参考＞地域共生社会について

地域住民や多様な主体が世代や分野を超えてつながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。豊田市では一人ひとりの「安心な暮らし」、一人ひとりの「生きがい（自分らしさ）」、人や活動の「つながり合い」をともにつくり、幸せを感じられる社会を目指した取組を進めている。

以上（添付資料：有 写真データ：無）

## 第5回地域共生社会推進全国サミット in とよた プログラム内容

(注) 講師等については変更となる場合があります。

大会1日目 令和5年10月12日(木)	
※講師名は敬称略、順不同	
<b>基調講演 ※豊田市コンサートホール</b> 『あらためて「地域共生社会」とは ～私たちのミライを構想する～』 原田 正樹 (日本福祉大学学長)	午後1時45分 ～2時45分 地域共生社会が求められている背景、目指すべき社会や、人と人との関係性などについて講演いただきます。
<b>パネルディスカッション ※豊田市コンサートホール</b> 『多様な主体がつながるミライへ ～枠のはみ出し方・変え方・外し方～』 ◎コーディネーター 永田 祐 (同志社大学社会学部教授) ○パネリスト 大澤 正彦 (日本大学文理学部情報科学科助教・次世代社会研究センターセンター長) 中島 みき (株式会社カヤックちいき資本主義事業部事業部長) 栗本 浩一 (とよた多世代参加支援プロジェクト事務局) ○コメンテーター 中野 まこ (NPO 法人ユートピア若宮自立生活センター十彩代表)	午後3時～4時30分 地域共生社会の実現に向け、多様な主体とつながるため、既存の取組の枠や概念をはみ出すこと・変えること・外すことについて、実践例を踏まえた意見交換をしていただきます。
<b>豊田市の事例紹介 ※豊田市コンサートホール</b> 『自分らしく地域で暮らすことができるまち「豊田市」を目指して～』 ◎コーディネーター 上野谷 加代子 (同志社大学名誉教授) ○プレゼンター 太田 稔彦 (豊田市長) 幸村 的美 (豊田市社会福祉協議会会長) ○コメンテーター 間 隆一郎 (厚生労働省老健局局長)	午後4時40分 ～5時50分 豊田市の実践などの紹介を通じて、地域共生社会について、参加者と一緒に考えます。
<b>交流会 ※名鉄トヨタホテル</b>	午後6時30分 ～8時30分

## 大会2日目 令和5年10月13日(金)

※講師名は敬称略、順不同

### 分科会 A (市民・市民団体向け) ※豊田市能楽堂

『市民目線！これが私のつながり方  
～いま私がやっていて、これからあなたにできること  
～』

◎コーディネーター

湯浅 誠

(NPO 法人全国子ども食堂支援センターむすびえ理事長)

○パネリスト

鈴村 萌芽 (株式会社 musbun CEO)

釘宮 順子 (フリースペースK 代表)

佐藤 史子 (埼玉県若年性認知症サポートセンター 若年性  
認知症支援コーディネーター)

○コメンテーター

米田 隆史

(厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室長)

### 分科会 B (事業者向け) ※名鉄トヨタホテル

『地域で活躍する事業者への期待  
～地域とつながることで果たす役割～』

◎コーディネーター

中島 修 (文京学院大学人間学部人間福祉学科長・教授)

○パネリスト

強矢 健太郎

(株式会社イトーヨーカ堂サステナビリティ推進部マネジャー)

川越 正平 (松戸市医師会会長・あおぞら診療所院長)

阪田 征彦・星野 真希

(社会福祉法人無門福祉会常務理事、主任)

○コメンテーター

野崎 伸一

(アマタホールディングス株式会社地域デザイングループ グ  
ループマネージャー)

午前9時30分

～11時30時

地域で活躍する市民や市  
民団体が登壇し、地域の  
多様な主体がつながること  
や、住民主体の活動の  
動機付けなどをテーマ  
に、意見交換を行います。

午前9時30分

～11時30時

地域で多様な分野から取  
り組を進める実践者が登  
壇し、地域で民の立場だ  
からこそできることや、  
期待されることについ  
て、意見交換を行います。

**分科会 C (自治体・社協向け) ※豊田市コンサートホール**

『包括的支援体制の現在地

～実践から考える成果と展望～』

◎コーディネーター

永田 祐 (同志社大学社会学部教授)

○パネリスト

板倉 小夜子 (しきしまの家)

清水 潤平

(滋賀県高島市健康福祉部社会福祉課くらし連携支援室長)

猪俣 健一 (大阪府阪南市社会福祉協議会 事務局次長)

○コメンテーター

犬丸 智則

(厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室 支援推進官)

**分科会報告・サミット宣言 ※豊田市コンサートホール**

湯浅 誠

(NPO 法人全国こども食堂支援センターむすびえ理事長)

中島 修 (文京学院大学人間学部人間福祉学科長・教授)

永田 祐 (同志社大学社会学部教授)

牧野 篤

(東京大学大学院教育学研究科教授・豊田市総合計画審議会会長)

太田 稔彦 (豊田市長)

**引継式 ※豊田市コンサートホール**

太田 稔彦 (豊田市長)

小紫 雅史 (次回開催市 奈良県生駒市長)

**特別講演 ※豊田市コンサートホール**

**調整中**

午前9時30分

～11時30時

包括的支援体制づくりに、それぞれの立場から先進的に取り組む自治体・社協・地域団体が登壇し、取組を通じて感じる成果や課題、今後の展望などについて、意見交換を行います。

午後1時30分

～2時30分

各分科会の報告と、サミットの2日間のまとめを参加者と共有します。

午後2時30分～3時

大会シンボル「はなかんむりこころの向日葵冠」を本市から次回開催市である生駒市に引き継ぎ、生駒市のPRをしていただきます。

午後3時15分

～4時15分